

児童・生徒数の推計方法

毎年5月1日現在の市立学校在籍数を基礎数値として、児童・生徒数を学校別に推計した東京都作成の「教育人口等推計資料（学校別推計表）」を基に、向こう3年間の推移を示している。新入学児童数は、毎年4月1日現在の学区域別の年齢別幼児数を基に推計されるが、当該年度の学区域別の入学率（学区域別の就学予定者のうち、実際に当該学区に入学した者の割合）が3年後まで変わらずに用いられていることから、令和6年度の入学率が令和7年度以降の児童数の推移に大きく影響する。なお、本推計値には、特別支援学級の児童・生徒数は含まれていない。

学級数の推計方法

学級数は、児童・生徒数の推計を基に、学校別・学年別に必要学級数を算出している。令和3年3月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、一学級の児童・生徒数は、小学校において令和7年4月までに段階的に全学年を35人学級とすることとなった（令和7年4月は、全学年35人学級）。中学校においては、1年生は中1ギャップ解消加配のため35人、2・3年生は現行基準のとおり40人。なお、児童・生徒数は住所変更や指定校変更などによる変化を考慮し、令和7年度以降の学級数は、各学年、数名増加する場合を想定して算出している。

市立小学校の推計

(1) 小学校の推計結果の概要

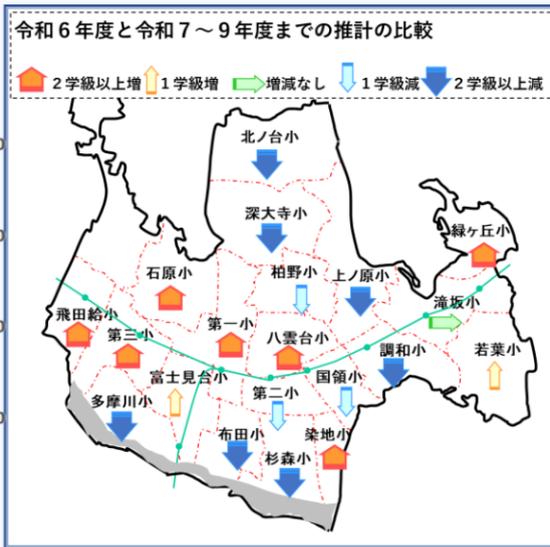
- 児童数のピークは令和6年度であり、令和7年度以降は減少する。令和9年度までの3年間で児童数1,000人以上が減少する見込み。
- 学級数のピークは令和7年度で、令和6年度と比較すると10学級増加の見込み。

(2) 要因

- 令和6年4月1日時点の小学校の学齢人口（6歳～11歳）は12,239人、未就学人口（0歳～5歳）10,189人である。令和3年度以降、未就学人口が学齢人口を下回っており、その差は年々拡大しているため、令和7年度以降の減少に反映されたと推測される。
- 学級数は、法改正により、令和7年度までに段階的に全学年35人学級となるため、令和7年度までは増加見込みだが、児童数の減少により令和8年度は減少に転ずる見込み。

(3) 注視する個別の小学校の状況

- 教室確保困難学区域に指定されている第一小・八雲台小・富士見台小・滝坂小・石原小・若葉小・緑ヶ丘小は今後も注視していく必要がある。その中で、第一小・八雲台小・石原小・緑ヶ丘小については、令和6年度と比較して、令和9年度までに最大3学級増加する見込み。



小学校別の推計 (令和7年度から令和9年度まで)

年度	児童数					学級数					
	6年度 (実数)	7年度 (推計)	8年度 (推計)	9年度 (推計)	増減 9年度-6年度	6年度 (実数)	7年度 (推計)	8年度 (推計)	9年度 (推計)	6年度と7年度～9年度までの推計の比較	
第一	696	693	726	749	53	23	24	25	26	↑↑↑	3
第二	468	445	432	404	▲64	17	17	17	16	↓	▲1 ※
第三	595	594	610	605	10	18	20	20	20	↑↑	2
八雲台	509	535	555	562	53	17	18	19	19	↑↑	2
富士見台	547	559	560	552	5	19	20	20	20	↑	1
滝坂	591	562	538	521	▲70	18	18	18	18	⇒	0
深大寺	492	456	407	343	▲149	17	17	16	15	↓↓	▲2 ※
上ノ原	878	845	810	748	▲130	26	26	25	24	↓↓	▲2 ※
石原	591	572	560	539	▲52	18	20	20	20	↑↑	2
若葉	921	892	840	772	▲149	28	29	28	26	↑	1
緑ヶ丘	493	525	556	556	63	17	19	19	19	↑↑	2
染地	168	172	209	202	34	7	8	10	11	↑↑↑	4
北ノ台	797	783	752	696	▲101	26	26	25	23	↓↓↓	▲3 ※
多摩川	684	637	575	539	▲145	22	22	21	20	↓↓	▲2 ※
杉森	683	647	625	589	▲94	21	21	20	19	↓↓	▲2 ※
飛田給	370	376	371	364	▲6	12	14	14	13	↑↑	2
柏野	579	561	530	519	▲60	20	20	19	19	↓	▲1 ※
国領	365	335	334	327	▲38	13	12	12	12	↓	▲1 ※
布田	469	442	424	400	▲69	17	16	15	14	↓↓↓	▲3 ※
調和	621	564	553	505	▲116	20	19	19	18	↓↓	▲2 ※
小学校計	11,517	11,195	10,967	10,492	▲1,025	376	386	382	372	—	—

網掛けの児童数・学級数は、令和6年度から令和9年度までの最大値を示している。
青枠は令和6年度と令和7年度から令和9年度までの最大値の比較、または、令和6年度が最大値の場合は令和7年度から令和9年度までの最小値(※)と比較し、その増減数を↑⇒↓の数で示している。

市立中学校の推計

(1) 中学校の推計結果の概要

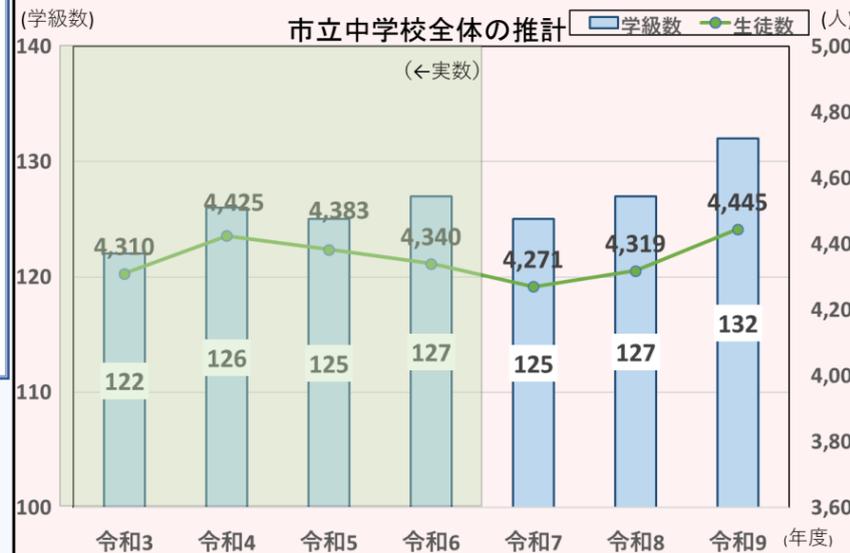
- 生徒数及び学級数は、令和7年度に減少し、その後は増加の見込み。

(2) 要因

- 令和6年4月1日時点の小学校6年生の学齢人口(1,972人)は、中学校3年生の学齢人口(2,016人)より少ないことから、1年後の令和7年度は生徒数は減少する。一方で、小学校4・5年生の学齢人口(4,161人)は、中学校1・2年生合計の学齢人口(3,897人)より多いことから、学年進行に伴い、令和8・9年度は増加していくと推測される。
- 中学校は、私立中学への就学や学校選択制により学区域外に就学する場合もあり、小学校の傾向とは異なる場合がある。

(3) 注視する個別の中学校の状況

- 調布中・第四中・第八中の学級数は、令和6年度と比較して、令和9年度までに2学級増加する見込み。
- 第三中・第六中の学級数は、令和6年度と比較して、令和9年度までに最大1学級増加する見込み。



中学校別の推計 (令和7年度から令和9年度まで)

年度	生徒数					学級数					
	6年度 (実数)	7年度 (推計)	8年度 (推計)	9年度 (推計)	増減 9年度-6年度	6年度 (実数)	7年度 (推計)	8年度 (推計)	9年度 (推計)	6年度と7年度～9年度までの推計の比較	
調布	581	564	597	622	41	17	17	17	19	↑↑	2
神代	908	875	845	860	▲48	25	24	24	25	↓	▲1 ※
第三	608	619	628	638	30	18	18	19	19	↑	1
第四	362	354	378	415	53	11	11	12	13	↑↑	2
第五	720	717	693	693	▲27	20	20	19	19	↓	▲1 ※
第六	388	392	383	385	▲3	12	13	12	11	↑	1
第七	420	403	422	426	6	13	12	13	13	↓	▲1 ※
第八	353	347	373	406	53	11	10	11	13	↑↑	2
中学校計	4,340	4,271	4,319	4,445	105	127	125	127	132	—	—

網掛けの生徒数・学級数は、令和6年度から令和9年度までの最大値を示している。
赤枠は令和6年度と令和7年度から令和9年度までの最大値の比較、または、令和6年度が最大値の場合は令和7年度から令和9年度までの最小値(※)と比較し、その増減数を↑⇒↓の数で示している。